



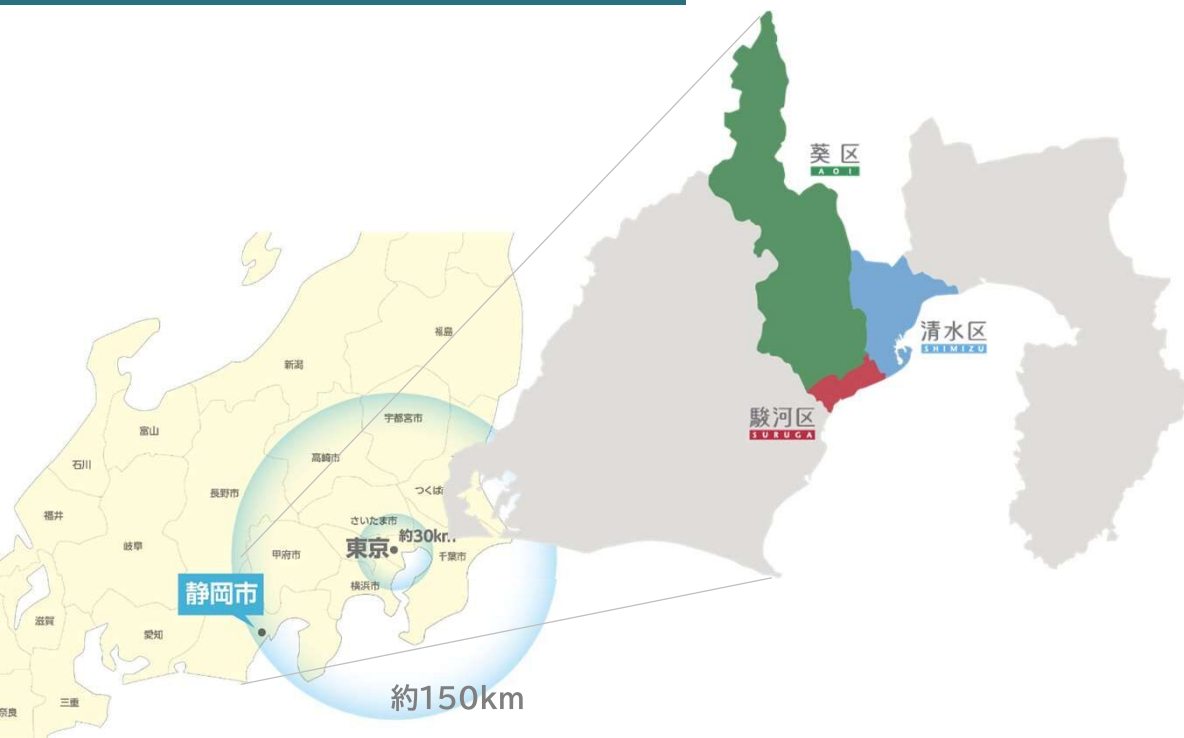
静岡市

# 脱炭素社会の実現に向けたGX推進事業

～経済・社会・環境の三側面の好循環を創出し、2050年カーボンニュートラルを目指します！～



自治体の紹介



人口 677,736 人 (2023.12末 ※ 住民基本台帳より)

面積 1,411.93km<sup>2</sup> (2023.1.1)

特徴 豊かな自然環境と都市機能が両立したまち



市域の約76%を占める森林



人口が集中する市街地周辺



国際拠点港湾『清水港』



豊富な地域資源(三保松原)



多種多様な産業が集積



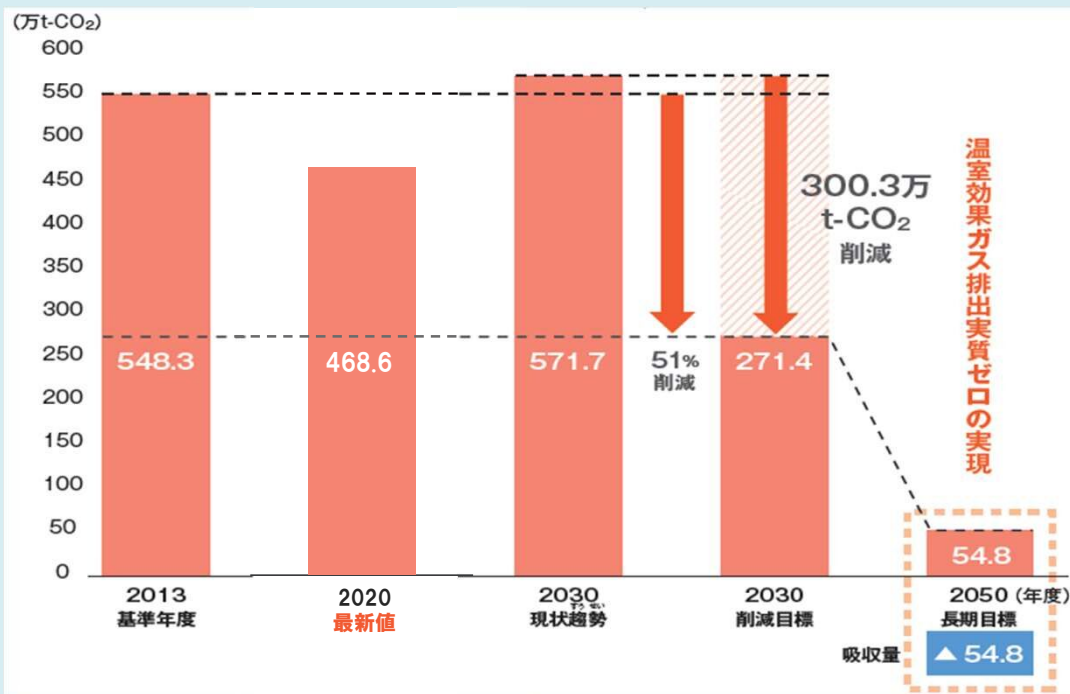
SDGs未来都市、脱炭素先行地域  
に選定されたまち

※ 第4次静岡市総合計画より画像を引用

## 現状の課題

2050年カーボンニュートラルの実現

2030年度までに51%削減(2013年度比) ⇒ **高いハードル**



## より一層の地球温暖化対策の推進

- ・2020年度は2013年度比14.6%の削減
- ・省エネの推進、再エネの導入拡大、エネルギーの高度利用化など全包囲網での取組が必要

## 再エネポテンシャルの最大限の活用

- ・ポテンシャルに対し導入実績が6.8%にとどまる (太陽光ポテンシャル:2,789MW 実績:186MW)
- ・エネルギー購入代金1,190億円が域外に流出

## 市内企業の脱炭素ビジネスの推進

- ・市域から排出される約7割が事業活動由来
- ・グローバル企業などは取引先にRE100の導入など環境に配慮した事業活動を求めている

## 事業の目的

**GXの推進により、経済・社会・環境の三則面の好循環を生み出す**

事業内容



令和5年度当初予算額 540,105千円  
 (うち一般財源) 102,978千円  
 ふるさと納税寄附目標額 10,000千円

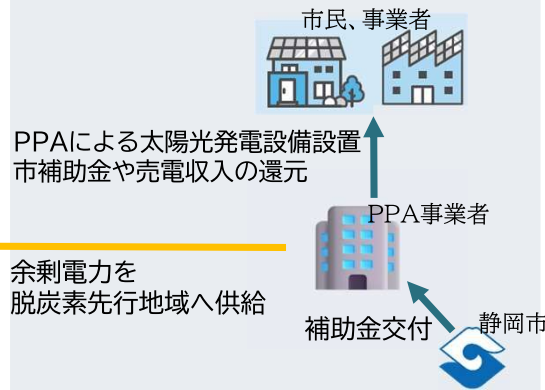
脱炭素先行地域づくり事業



整備中の恩田原・片山エリア

- ・国から選定された脱炭素先行地域の整備
- ・賑わい創出やレジリエンス強化などのまちづくりを推進
- ・同地域で確立した新たな地域脱炭素モデルを市内外に水平展開

グリーン電力地産地消事業



- ・太陽光発電のPPA(第三者所有)モデルの拡大
- ・余剰電力を市域内で消費するための先導モデルを官民連携により構築
- ・収益性のあるビジネスモデルを確立

静岡型水素タウン促進事業



水素ステーションと燃料電池自動車

- ・水素エネルギーの需要と供給の両面を支援
- ・水素ステーションの整備(グリーン水素の製造・供給)
- ・FCバス等の導入
- ・水素エネルギーを利活用したまちづくり「静岡型水素タウン」実現

グリーン産業創出支援事業



静岡DACプロジェクト

- ・脱炭素に資する新技術や新商品、新サービスの研究開発及び事業性調査等を支援
- ・実用化に向けた支援
- ・企業同士のマッチング

得られる成果

経済

- ・脱炭素ビジネスの推進によるESG投資の拡大
- ・新たな取引先の獲得に伴う事業収益の増加
- ・再エネの地産地消に伴う資金の域内循環

脱炭素先行地域に関連する企業等の  
投資累計額(2030年度) ⇒ 70億円

R4実績:0円

社会

- ・再エネや蓄電池の導入拡大、水素エネルギーの利用促進による分散型エネルギーの確保
- ・気候変動を抑えた安全・安心なまちづくり

安全・安心に暮らせるまちだと思う  
市民の割合(2030年度) ⇒ 60%

R4実績:56.6%

人々が将来にわたり豊かな営みをつづけられるまち・静岡  
～グリーン・デジタルを通じた新たな価値の創出～

環境

- ・温室効果ガス排出量の削減
- ・温暖化対策にかかわる人材の育成
- ・化石燃料の抑制に伴う自然環境の保全

2013年度比温室効果ガス排出量の削減  
(2030年度) ⇒ 51% R2実績:14.6%

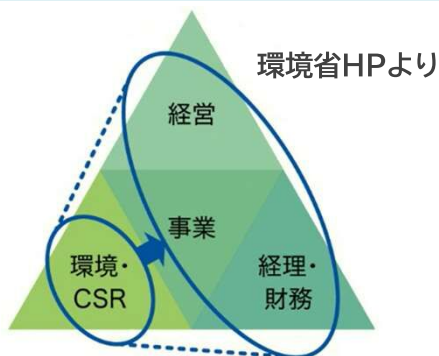
GXの推進に意欲のある自治体と連携することは企業イメージの向上のみならず  
新たなビジネスパートナーの獲得など企業の事業拡大にも寄与していきます

## 寄付するメリット

### 企業の脱炭素に向けた取組として評価されます

脱炭素の取組が  
評価される時代です！

- 顧客、株主、取引先、銀行など、  
様々なステークホルダーから
- TCFD提言に沿った非財務情報  
の開示なども高まっています



### 新たなビジネスチャンスになります



清掃工場から発生する溶融スラグを  
活用した藻場の育成



### 市内企業やプロジェクトとの マッチングの可能性！

- 静岡市には、新ビジネスに挑戦  
している企業がたくさん
- 静岡市においても、企業との連  
携を重要視しています

### 日本ひいては世界への貢献になります

静岡市は国内外から  
注目されています！

- 他市町からの脱炭素に関する  
行政視察15件(令和5年度)
- 台北市とGX等の都市間交流  
に関する覚書を締結しました

静岡市の取り組みは、  
水平展開しやすい！

- 山間部、港湾部、都市部という、  
各エリアの地域特性に合わせた  
取り組み

だからこそ！

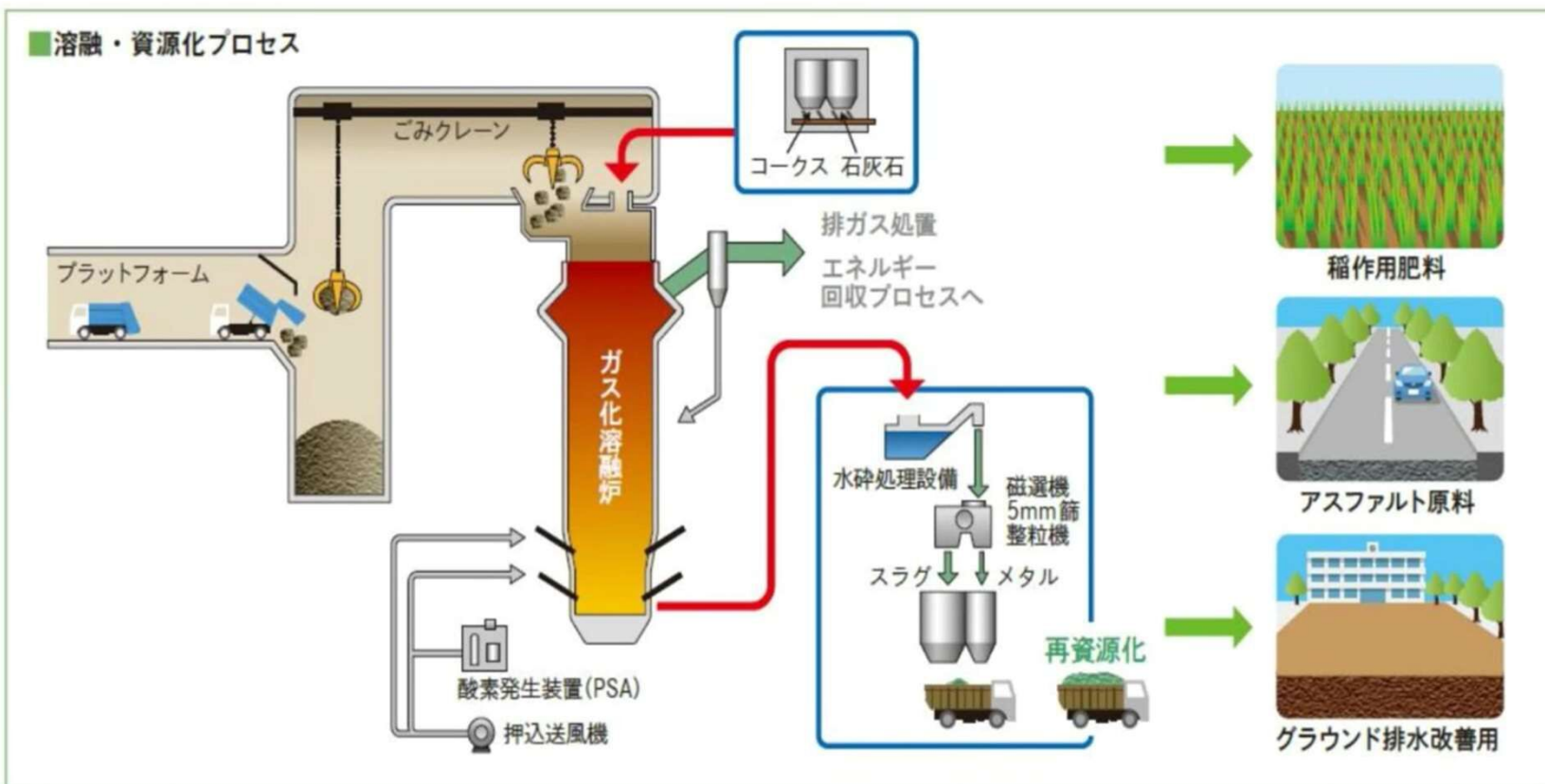
**静岡市の取り組みを市内外へ水平展開し、  
日本ひいては世界の課題解決へ貢献していきます！**

### その他

- 感謝状の贈呈
- 市HPでのPR(企業名、企業ロゴ、寄付金額、企業概要等の掲載)
- その他、協議のうえ、相互にメリットのある連携を検討していきます！

企業連携事例① 溶融スラグの活用(日鉄エンジニアリング株式会社)

- ・静岡市西ヶ谷清掃工場のごみ処理過程で「溶融スラグ」を製造し、建設資材として利用
- ・令和4年には全国で初めて農業用の肥料として認められ、農業分野での利活用も進められている



登 録 証	
氏名又は名称及び住所	1000013 1400 福岡県北九州市戸畑区大字中原46番地59 株式会社エヌジェイ・エコサービス
登録番号	生第 107184 号
登録年月日	令和 4 年 3 月 25 日
登録の有効期限	令和 7 年 3 月 24 日
肥料の種類	熔成けい酸質肥料
肥料の名称	ディーエムケイカル
保証成分量 (%)	可溶性けい酸アルカリ分 25.0 窒素 30.0 リン酸 1.0
その他の規格	普通肥料の公定規格中熔成けい酸質肥料の「含有を許される有害成分の最大量」及び「その他の制限事項」との通り。
肥料の品質の確保等に関する法律第7条の規定に基づき上記のとおり登録したことを証する。	令和 4 年 3 月 25 日
農林水産大臣	金子 原二郎
管理番号	060-105000550109

登録証

※ 日鉄エンジニアリング株式会社HPより画像を引用

企業連携事例② 静岡DACプロジェクト(タケ・サイト株式会社 他)

- ・産業廃棄物である生コンスラッジを材料に用いて大気中の二酸化炭素を直接回収(=Direct Air Capture)し、炭酸カルシウムを生成
- ・生成した炭酸カルシウムを多種多様な用途で利用できるよう、公民連携で取り組んでいる

地球規模での課題を解決

スローにナチュラルに

①



生コン工場から発生する産業廃棄物  
生コンスラッジ

②  
DAC



当社の独自技術にて大気中の  
CO2を固定した炭酸カルシウム微粉末を生産

カーボンネガティブ炭酸カルシウムとして様々な市場へ供給

③

- ①低炭素コンクリート材料
- ②樹脂フィラー
- ③増量材
- ④石灰肥料
- ⑤中和材
- ⑥脱硫材
- ⑦水処理
- ⑧二酸化炭素吸着材

産業廃棄物を再資源化し、CO2を吸収する。さらに炭素固定材料を使って製品をつくることで世界のCNを実現する。



市内ベンチャー企業のタケ・サイト株式会社を中心に、株式会社大林組、鈴与商事株式会社、三菱商事建材株式会社(当時)、静岡市の5者で連携協定を締結。



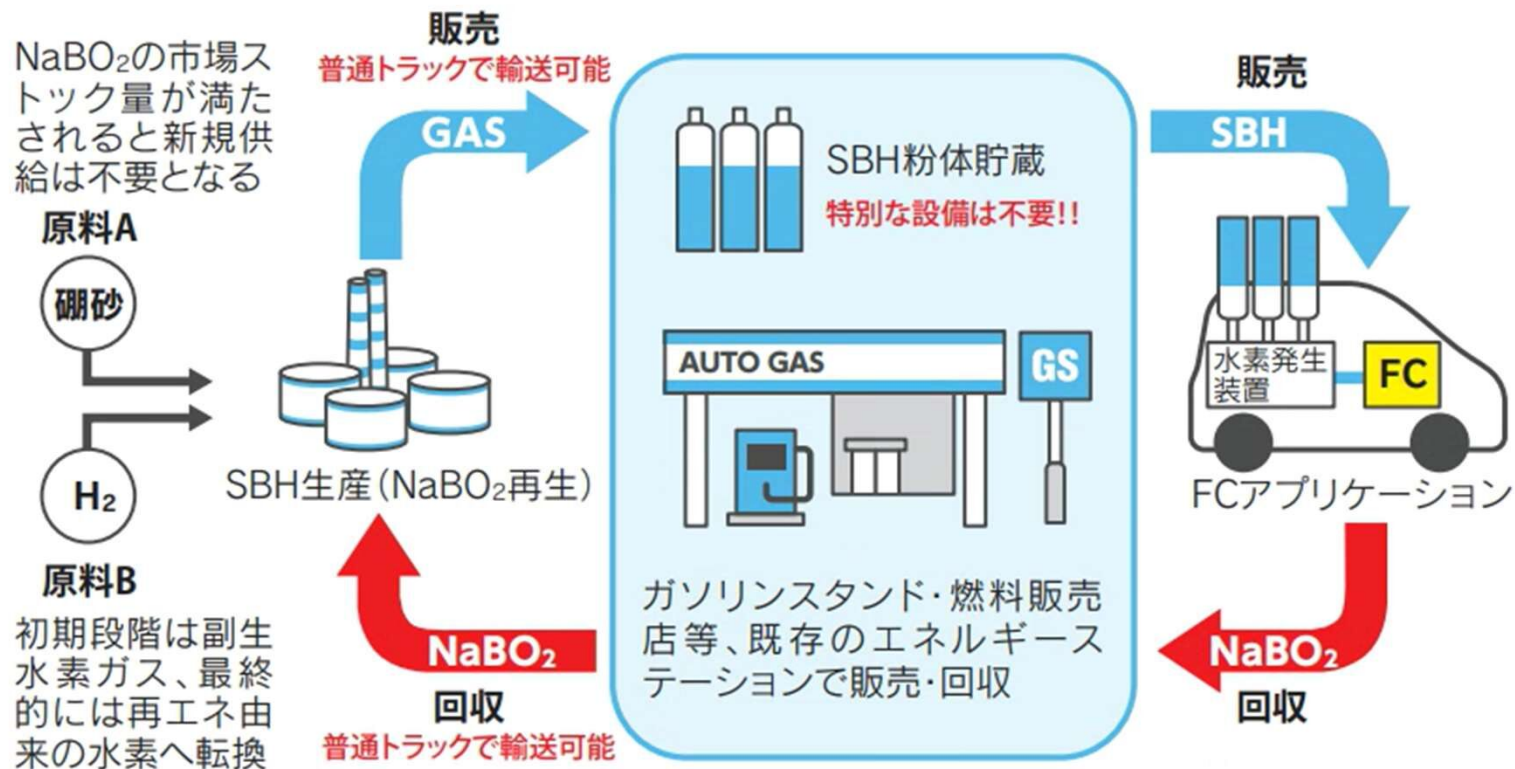
企業連携事例③ 新たな水素キャリア「粉末SBH」の研究開発(日本軽金属株式会社)

- ・水素の貯蔵・運搬問題の解決につながる新たな水素キャリア「粉末SBH」の研究開発を支援
- ・実用化に向け定期的な情報交換を行い、水素社会の実現に向け連携



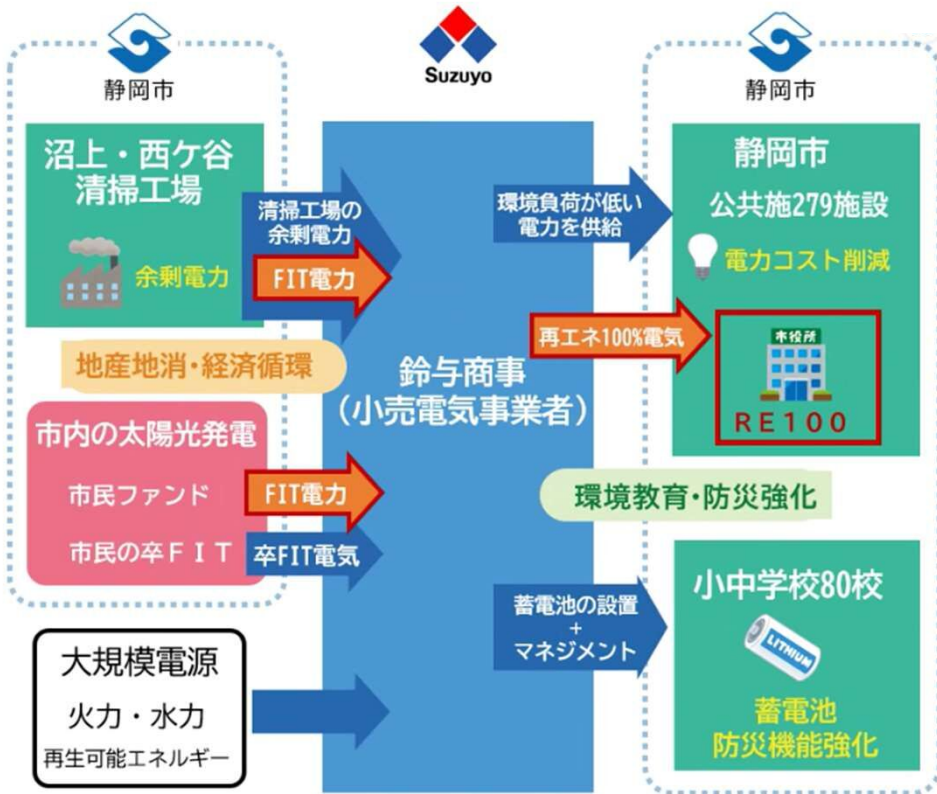
粉末SBH出所:日本軽金属株式会社

- ・1kgにつき2.4m<sup>3</sup>(2,400ℓ)の水素を貯蔵可能
- ・加水分解により水素が発生する

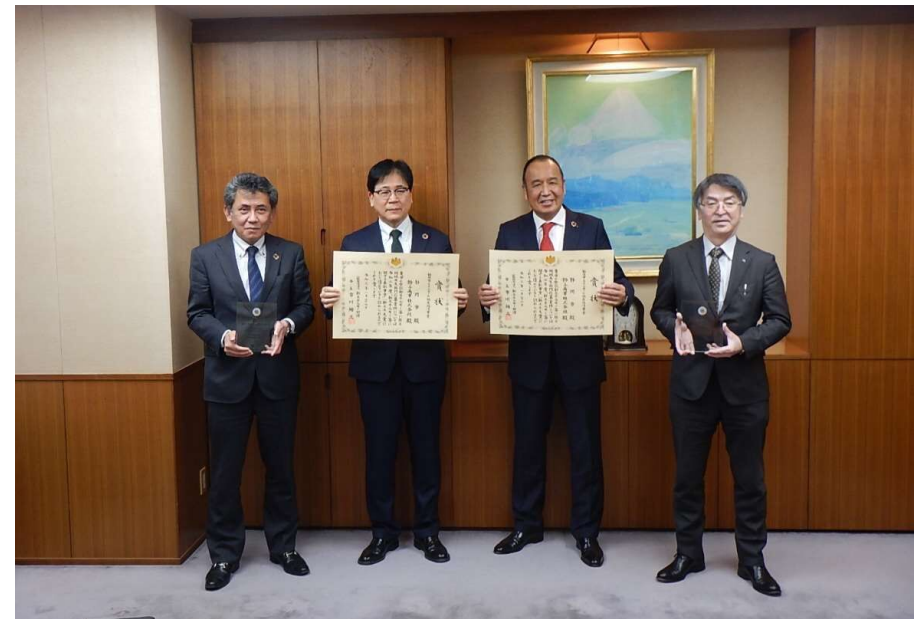


企業連携事例④ エネルギーの地産地消事業(鈴与商事株式会社)

- ・清掃工場の余剰電力を公共施設279施設に供給するとともにVPPも構築
- ・令和元年11月から、市内の家庭用太陽光の卒FIT電力も活用
- ・令和3年4月からは、市内再エネ電力を活用し一部庁舎をRE100としている



※ 鈴与商事株式会社HPより画像を引用



全国自治体への広がり期待できる事業として評価され、令和2年度新エネ大賞において「新エネルギー財団会長賞」を受賞

本市は、地球温暖化対策のトップランナーとして全国のモデルになり、地球温暖化を抑えていくだけでなく、地域の経済・社会の発展に貢献します。

将来にわたり安全・安心に暮らせるまちの実現に向け、是非、ご支援とご協力をお願いします。



静岡市

静岡市 環境局 環境創造課 グリーン政策係

電話：054-221-1611

E-mail：[kankyousouzou@city.shizuoka.lg.jp](mailto:kankyousouzou@city.shizuoka.lg.jp)